

本年の大麦は苗立ちが良好で、**莖数はかなり多くなっています**。
排水が悪いと根の伸長が阻害され、軟弱になってしまいます。積雪前に溝の手直しなどの**排水対策を確実に**行いましょう。

1 排水対策

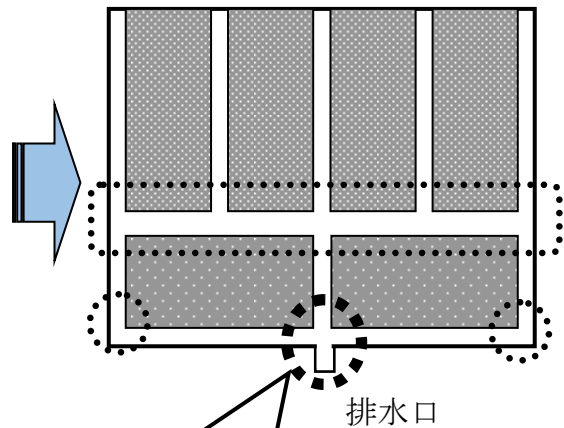
- (1) 積雪前に**排水口まで溝がしっかり連結**されているか確認し、溝の手直しを行いましょう。
- (2) 降雨後、ほ場に水が停滞する場合は、**溝を深く掘り下げて排水口につなぐ**など、短時間で排水できるようにしましょう。

ほ場に水が溜まっていると…



根の呼吸ができなくなる。
⇒根が弱り、肥料を吸収できない。

莖数が増えない。葉色が低下する。



枕地や排水口周辺の排水溝をしっかりと連結する。

2 年内追肥(分施肥系)

- (1) 葉色がさめているほ場は、溝に水が停滞するなど湿害の影響を受けている場合がほとんどです。**まずは排水対策を徹底**しましょう。
- (2) 排水が良好なのに莖数が少なく、葉色が極端にさめている場合は、農協や農林振興センターにご相談ください。

※基肥に「Jコート大麦48号」及び「エコ大麦44号」を使用している場合は、**追肥は必要ありません**。